

拝啓 今年も早や 11 月下旬となりました。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。近所の公園では、紅葉がきれいな頃となりました。私の家の垣根は山茶花ですが、花の少ない時期に大きな花を咲かせて、道行く人びとの目を楽しませてくれます。

今回は、カウマン夫人編著の『日の出に向かって』の 12 回目ですが、12 月 16 日のところに出ている詩には、次のように書かれています。

「日は、西の空にゆっくりと暮れている、日没の輝きは色あせて …我が魂よ、静まりなさい 主の時が訪れようとしているから 見よある夕暮れに 神はあなたをうちに導かれるのだ 夕暮れは、私たちを父の家路へと導く」という詩がでています。今回はこのような晩年を歌う詩が多く載っています。それらを元の本から写しながら、日本人の書いた詩には、こんな詩はないなあと思いながら書き写しました。

エンカウンターが 200 号を迎えました。毎月 1 回発行ですから $200 \div 12 = 16.666$ で、16 年と 8 カ月続いたこととなります。「エンカウンター」(出会い)という名前を付ける前、数カ月は無題のままお送りしましたから、17 年続いたこととなります。

193 号の送り状に書いたことと重複しますが、この間取り上げた私の信仰の先生と著書は、以下の通りです。

2002 年 1 月～ ルツ・エルマー先生の文集より

2002 年 4 月～ 小西芳之助「主の御名を呼ぶ」より

2002 年 9 月～ ビリー・グラハム「今日のみことば」より

2003 年 4 月～ パウロの手紙より

2003 年 9 月～ 内村鑑三「一日一生」より

2004 年 2 月～ 矢内原忠雄「矢内原忠雄全集第 17 巻」より

2004 年 8 月～ 南原繁「南原繁著作集第 10 巻」より

2005 年 2 月～ 新渡戸稲造「一日一言」より

2005 年 8 月～ スポルジョン「朝ごとに」より

2006 年 2 月～ L・B・カウマン「山頂をめざして」より

2006 年 11 月～ 神谷美恵子「神谷美恵子著作集」より

2007 年 6 月～ 金田福一「日々の糧 365 日」より

2007 年 12 月～ バジレア・シュリンク「愛のまなざし神の子の日ごとのよりどころ」より

2008 年 6 月～ バークレイ「希望と信頼に生きる」より

2009 年 6 月～ ヒルティエー「眠られぬ夜のために」より

2010 年 6 月～ 相沢良一「黒潮の神学」より

2011 年 6 月～ 「ミス・ローラ・モーク その信仰と生涯」より

2012 年 1 月～ 「エデンの架け橋—モーク先生の教えと手紙—」より

2012 年 6 月～ 小西芳之助「ローマ人への手紙講解説教」より

2013年11月～ 石館守三「はまなすの小道—私の歩んだ道—」より

2014年12月～ 「小西芳之助同志会金曜会日誌語録」より

2016年5月～ 内村鑑三「続一日一生」より

2017年5月～ 新渡戸稲造「人生雑感」より

2018年1月～ カウマン夫人「日の出に向かって」より

先生の名前で言いますと、小西芳之助、パウロ、内村鑑三、矢内原忠雄、南原繁、新渡戸稲造、スボルジョン、カウマン夫人、神谷美恵子、金田福一、バジリア・シュリンク、バークレイ、ヒルティ、石館守三、相沢良一、モーク、エルマー先生などの本を取り上げましたが、これらの先生は、私の大切な信仰の先生となりました。

「継続は力なり」という言葉がありますが、よく続いたものだと思います。一度途中で中断しかかったことが有りましたが、米倉安雄さんのアドバイスで切り抜けました。今では、20名の方に郵便でお送りしているほか、米倉さんと加古川にお住いの船倉昌之さんの御厚意で、ウェブサイトに掲載して頂いておりますので、パソコンさえあれば、世界中でバックナンバーを読むことが出来ます。

ビリー・グラハム先生の、「今日のみことば」という本を読んで、日めくりの霊想の書には、著者のエッセンスが詰まっていることを発見し、次々と霊想書を読むようになり、主として感銘を受けた霊想書の紹介をしてみました。

また毎月発行することにより、内村鑑三先生の『聖書之研究』、矢内原忠雄先生の『嘉信』、相沢良一先生の『黒潮』などの月刊伝道誌を続けることのご苦勞を偲ぶことが出来ました。

これからも、続けられる限り続けたいと思いますが、ご愛読のほど、よろしくお願い致します。

11月3日第15回南原繁シンポジウムが開かれました。樋野興夫先生の代わりに閉会あいさつに立ち、故鴨下重彦先生の小児科医の経験として、7年続けば、70年続くことも夢ではないという先生の昔のスピーチを引いて、そのつもりで続けたいと話しました。

11月17日(土)、昭和記念公園を訪ねました。広大なことと、今では立派に出来上がって、大勢の入園者がいることに驚きました。

大分寒くなりましたが、お身体ご自愛のほど祈り申し上げます。

平成30年11月22日

山口周三

エンカウンターの読者各位